

令和元年度図書館事業評価結果について

河内長野市立図書館（図書館）では、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」（平成24年12月19日文部科学省告示）に基づき、図書館サービスその他図書館運営の維持・向上を図るため平成26年度から図書館事業評価を行っています。令和元年度の図書館事業評価結果について、取りまとめましたので公表します。

図書館は、平成31年2月23日付け河内長野市図書館協議会（図書館協議会）の答申を受け「第2期河内長野市立図書館の事業の実施等に関する基本的な運営の方針」（基本的運営方針）を平成31年3月31日付けで決めました。基本的運営方針に基づき策定した事業計画及び指標の達成状況を分析し、今後の課題・取組等について図書館により自己点検・評価を実施します。また、この自己点検・評価を踏まえ図書館協議会委員から外部評価を得ます。その結果を「河内長野市立図書館事業評価」として公表します。

1. 点検及び評価の目的

- ・ 基本的運営方針に基づいた運営がなされていることを確保し、事業水準の維持・向上を図ります。

2. 評価の方法等

基本的運営方針に基づき策定した事業計画及び指標の達成状況を分析し、指標に係る数値目標により3段階の評価基準で評価を実施します。また、図書館協議会委員から外部評価を得ます。

実績は12月末現在の数値に3月末までの推計を含めて算出します。

- ・ 評価基準（端数切捨て）
A…達成した（90%以上） B…ほぼ達成した（89%～61%）
C…達成できなかった（60%以下）

河内長野市立図書館事業計画(令和元年度) 評価一覧表

	事業計画	取組目標	主な取組実績	自己点検(今後の課題・取組等)	図書館協議会委員による外部評価
基本的運営方針1	読書活動を推進し、市民の読書習慣の定着化を促進します。				
	(1) 市民の資料要求に応え、さらにその要求を広め高めて行くため、良質な資料を収集・提供します。	①図書館の蔵書の充実 ②図書館利用の促進 ③魅力のある資料の収集	「河内長野市立図書館収集方針」(平成14年7月策定)及び「河内長野市立図書館蔵書整備計画」(平成28年4月1日策定)に基づき、計画的な資料の収集を行っています。 ①1年間の受入冊数 12月末実績 11,197冊 3月末実績(推計) 14,929冊 ②図書館利用者数 12月末実績 449,144人 3月末実績(推計) 593,920人 ③市民1人当たりの貸出冊数 12月末実績 7.4冊 3月末実績(推計) 9.9冊	①1年間の受入冊数は、昨年度並みの冊数を維持し、蔵書の充実に努めました。 今度とも魅力ある良質な資料構成を目指して、ネーミングライツによる歳入を活用し資料の更新と充実を進めていきます。 (ネーミングライツ(命名権料)の内訳) 令和2年1月1日～6年12月31日 初年度 50万円+物品393,340円 次年度以降 年額70万円 また、英語多読資料の整備を引き続き進め、より一層の利用促進を図ります。 英語多読コーナー蔵書冊数 12月末実績 953冊 英語多読コーナー貸出冊数 12月末実績 5,717冊 ②利用実態に応じたサービスの見直しにあわせて、非来館型サービス、高齢者や障がい者サービスの充実に向け電子書籍の導入を検討します。 ③市民の読書要求に応えられるよう、蔵書の充実に努めていきます。	・財政が厳しい中、蔵書の充実に努められていること、時代に合わせて英語多読コーナーの利用促進をされていることに感謝。 ・「利用実態に応じたサービスの見直し」この言葉(簡単なようで難しいことと思います)に努力されていると力強く感じました。 ・資料受入冊数はここ数年安定しており、今後もこのまま維持していくことで住民への資料要求に応えることが可能かと思えます。 ・市民のニーズがどこにあるのか具体的に知るためにも、図書館アンケートの内容(質問や選択肢)を吟味し、よりいっそう蔵書の充実を目指して欲しい。 ・年間の利用者数および貸出冊数は、平成30年度、31年度ともその前年よりは開館日数が約30日減少しているにもかかわらず高位の数字を維持しており、図書館の努力の跡が見受けられます。 ・電子書籍の検討は、読書の幅が広がることにつながるのでは、よいと思えます。
	(2) 市内全域への図書館サービス提供のため、図書館、公民館や自動車文庫等の全体の蔵書構成を考えた資料収集を行います。	①市内全域への図書館サービス ②公民館図書室の蔵書の充実 ③自動車文庫の蔵書の充実	公民館図書室8ヶ所、自動車文庫ステーション23ヶ所のサービスポイントを活用し、利用者の利便性の向上と資料提供に努めました。 ①図書館と公民館との相互貸借冊数 12月末実績 34,225冊 3月末実績(推計) 45,634冊 ②公民館図書室の蔵書整備冊数 12月末実績 1,086冊 3月末実績(推計) 1,448冊 ③自動車文庫の蔵書整備冊数 12月末実績 386冊 3月末実績(推計) 515冊	①予約資料を最寄りの公民館図書室や自動車文庫サービスポイントを利用して受け取るなど、図書館ネットワークが有効に活用されています。 ②③今後とも市内全域にサービスできるよう継続した資料整備を行っていきます。	・公民館図書室を「第2の図書館」として利用している高齢者や子育て世代の一市民として、図書館ネットワークは必須です。
(3) 市民の身近な施設としてのサービス機能の充実を図るため、自動貸出機を活用するなど利便性の向上に努めます。	①自動貸出機の利用促進	①自動貸出機による貸出冊数割合 12月末実績 21.9% 3月末実績(推計) 22.0%	自動貸出機の利用状況は、12月末現在、利用人数34,474人、貸出冊数148,838冊でした。平成29年6月の導入以来一定の割合で利用されています。利用に不慣れな利用者もいることから、今後も、より利用しやすいよう利用をサポートしていきます。	・自動貸出機は一定の利用があるものの、敬遠する方もいるようです。60代以上の利用者が多いことを考え動画による使用方法の説明があるとわかりやすいのではないのでしょうか。 ・自動貸出機の利用率が上がればいいですね。	

	事業計画	取組目標	主な取組実績	自己点検(今後の課題・取組等)	図書館協議会委員による外部評価
基本的運営方針2	市民との協働を推進するとともに、交流人口の拡大や地域の活性化に寄与します。				
	(4) ボランティア活動の充実を支援し協働を推進するため、読み聞かせボランティア講座やスキルアップ講座を実施します。	①ボランティアとの協働を推進	①開催講座数、ボランティア活動のべ参加人数 開催講座数 12月末実績 1講座 5回 3月末実績(推計) 3講座 9回 ボランティア活動のべ参加人数 12月末実績 441人 3月末実績(推計) 540人	①すぐに役立つ読み聞かせボランティア講座参加者のうち、図書館で活動するボランティアに新たに加入予定4名(おはなしパレット3名、子どもの本の連絡会1名)、子どもと本をつなぐ活動に関する講座については、図書館で活動するボランティアだけでなく、学校園・子ども子育て総合センター(あいっく)・健康推進課および図書館に団体登録のある関連団体に案内を送付し、広く参加をうながしています。 図書館で活動いただいているボランティアは、児童サービスではおはなし会、えほんのひろば、ようこそえほんといっしょ(乳幼児健診での読み聞かせ)など、障がい者サービスでは、対面朗読、さわる絵本・布の絵本の制作、福祉施設の訪問など、ヤングサービスでは高校生ボランティア(本の配架や修理等)などです。様々な図書館事業に参画いただいています。	・ヤング(YA)サービスは、どこでも試行錯誤しています。高校生ボランティアに子どもの読み聞かせをやってもらったらどうでしょうか。若いうちからやっている、自分が親になった時に意識が違ふと思います。
	(5) 生涯学習機会の拡大のため、他の公立図書館等との連携を一層図り、広域相互利用を実施して交流人口の拡大を進めます。	①広域相互利用の推進	①14市町村広域登録者数 12月末実績 7,526人 3月末実績(推計) 7,690人	①市民の生涯学習機会を拡大するため今後とも広域相互利用を実施します。(14自治体:大阪市、東大阪市、八尾市、松原市、柏原市、羽曳野市、藤井寺市、富田林市、大阪狭山市、太子町、河南町、千早赤阪村、橋本市、五條市) また、富田林市、大阪狭山市の市立図書館とともに「三市図書館連携講座」を開催して南河内を広く知る機会を提供するとともに、羽曳野市立図書館を含めた4市立図書館が連携して、各図書館にて蔵書点検前に残り3市の観光パンフレットや図書館利用案内を展示するなど交流の促進を図りました。	・府県(和歌山県橋本市、奈良県五條市)を跨いでの広域相互利用は珍しいと思います。
(6) 地域課題の解決に向けて、様々な分野で活動しているボランティア団体のチラシを配架することで情報発信を支援し、またボランティア活動への参加を促進して、地域活性化を図ります。	①ボランティア団体の情報発信を支援	①るーぷらざ登録団体や社会福祉協議会主催事業等のチラシ配布数 12月末実績 1,706枚 3月末実績(推計) 2,275枚	①チラシを配架すると、早い時期になくなっていくものも多数あり、市民の地域活動等への関心の高さが表れています。今後も、依頼に応じて図書館資料の展示を行うなど、積極的な情報発信や情報提供を行っていきます。		
基本的運営方針3	子どもたちに多様で豊かな読書環境や学習機会を提供するため、学校、地域、家庭との連携を図ります。				
	(7) 「河内長野市第3次子ども読書活動推進計画」(平成28年度～平成32年度)に基づき、関係機関との連携を図りながら子どもの読書活動を推進します。	①子どもたちの図書館利用の推進 ②図書館と学校との連携 ③学校等での本に親しむ機会の提供	①0～18歳の図書館登録者率 12月末実績 48.3% 3月末実績(推計) 48.7% ②図書館から小中学校への団体貸出冊数 12月末実績 5,240冊 3月末実績(推計) 6,997冊 ③えほんのひろば参加者数、うち異年齢交流参加者数 12月末実績 2927人、876人 3月末実績(推計) 4618人、1352人	①利用者登録は、校長会、教頭会にもお願いして学校を通じて中学一年生に登録の機会を設け図書館利用のPRに努めました。 ②学校専用の資料である「学校支援用図書」の整備等、継続した資料整備に努め、学校図書館司書とも連携しながら子どもの読書環境の整備を進めます。 令和元年度は、学校支援図書の予約を100冊に拡大しました。 ③「えほんのひろば」について数値であげたのは学校のみ。それ以外の実績は12月末 450人(大阪府立花の文化園236人、夏休み子ども教室125人、英語村inキックス89人)、3月末 550人(12月実績に河内長野市立子ども子育て総合センター2月開催予定分を加えます)	・長期の休日の日など、親に連れられて図書館に来られる子どもさんが、両手にたくさんの本を抱えて帰られる。その姿には将来への明るい希望を感じます。それを、小学校・中学校へ、どう継続していくか。利用者登録の増加が、利用者数・貸出数の増加につながることを期待したいと思います。 ・えほんのひろばは小学校を中心にすっかり浸透したと思います。次はYA向けに別のアプローチを考えて欲しい。 ・学校(司書や司書教諭)との連携を密にし、能力の向上に結び付けてほしい。

	事業計画	取組目標	主な取組実績	自己点検(今後の課題・取組等)	図書館協議会委員による外部評価
	図書館機能の充実を目的に、児童サービスやレファレンスサービスほか各種サービスの向上を図ります。				
	(8) 子どもたちの読書活動の推進を図るため、ボランティア等と連携し、おはなし会などを実施します。	①定期的なおはなし会等の子ども向け行事の実施	①おはなし会等開催回数、おはなし会等参加者数 12月末実績 67回、356人 3月末実績(推計) 88回、480人	①英語のおはなし会(5月12日11時～、7月21日15時～、1月17日15時～、いずれも日曜日 計57人参加) 図書館アンケート「おはなし会の開催時間について」項目の結果を受け、おはなし会開催協力のボランティア(おはなしパレット、河内長野子どもと本の連絡会)と開催時間について検討。①定期定例のおはなし会に少数ながら固定の参加者がある②日曜日は、春秋のおはなしウォッチング、夏休みおはなし会、親と子のクリスマス会の開催など不定期のイベントを企画している という2点から、令和2年度での開催日時の変更は見送ることとなりました。	・おはなし会の開催日時については、実際の参加者の声を聞いてみるなど、今後もよりよい方向を意識しながら取り組んでいただきたいと思います。
	(9) 地域文庫、幼稚園・保育所及び放課後児童会等への団体貸出の利用を促進するため、資料集配送を継続実施します。	①団体貸出の利用促進	①資料配送件数、資料配送冊数 12月末実績 201件 9,614冊 3月末実績(推計) 268件 12,818冊	①配送の利用が一番多いのは、放課後児童会となっており、児童に対して本のある環境づくりの推進に貢献しています。	・事業計画(7)(8)(9)について、児童サービスや学校、幼稚園など各種団体への貸出など子ども達への読書環境の整備と学習機会の提供についても前年と同様に充実した活動が展開されていると思います。
基本的 運営 方針 4	(10) インターネット端末席の設置や、メールマガジンの発信、レファレンスデータベースの公開などITを活用した図書館サービス機能の充実を進めます。	①インターネット・オンラインデータベースの利用促進 ②レファレンスデータベースの充実 ③インターネット環境の充実 ④国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの利用環境の整備	①インターネット・オンラインデータベース端末利用者数 12月末実績 1,836件 3月末実績(推計) 2,295件 ②レファレンスデータベースの公開件数 12月末実績 3件 3月末実績(推計) 12件 ③Wi-Fi利用登録者数 12月末実績 1,202人 3月末実績(推計) 1,285人 ④国立国会図書館が提供する歴史的音源や電子書籍の年間利用回数 12月末実績 8回 3月末実績(推計) 14回	①インターネット利用が12月末実績で1,800件を超えていますが、オンラインデータベースの利用は限られている状況です。近隣他市へのPRも行い、利用の一層の促進を図ります。 ②レファレンスデータベースの事例公開は今年度12件を予定しており、年度末には累計94件となる見込みです。新たな資料も増えていることから過去の公開事例の見直しも進め、利用者の課題解決の支援に努めます。 ③Wi-Fiの利用者数は増加の傾向にあり、今後も安定して提供できるように機器の更新の検討を進めます。 ④国立国会図書館が提供する歴史的音源の利用は伸び悩んでいます。電子書籍については、以前にレファレンスで国立国会図書館から郵送複写で論文を取り寄せていた件数に近く、利用者の利便性の向上につながっています。今後も、メールマガジンや図書館だより等を通じてPRに努めます。	・オンラインデータベースについて、近隣市がどんなデータベースを提供しているか状況を調査し、それぞれが別のデータベースを持つなど、住み分けを図るのもひとつの方法かと思えます。 ・Wi-Fiの件について強く推進を希望します。一般企業も図書館も、新しく来訪してもらうことは共通の課題だと思います。まず人を集める仕組みを作り、来てもらえるよう投げかけをして、その中から自社のサービスを体験してもらい、リピーターになってもらう。Wi-Fi環境を整えることで、普段は図書館を利用しない人たちも来ます。また、図書館付近に長く滞在することもあるはずで、外でフリーWi-Fiを使うのは、図書館の利用割合の低い若年層が多いはずですし、そのうち何割かは、ついでに図書を見て帰り、利用者になります。少なくとも学校や職場、自宅を往來しているだけとは比べ物にならないレベルで図書館を意識してもらうことができます。新しく図書館を利用する人を増やすために極めて有効な取り組みと思われしますので、是非ともWi-Fi環境の充実を引き続き進めて頂きますようお願いいたします。
	(11) 誰もが、利用しやすい環境づくりを進めます。	①郵送貸出サービスの実施 ②福祉施設へのサービスの実施 ③認知症にやさしい図書館の推進	①郵送貸出件数 12月末実績 170件 758点 3月末実績(推計) 220件 1,010点 ②福祉施設への団体貸出利用数 12月末実績 1,950冊 3月末実績(推計) 2,600冊 ③まちかどカフェ(認知症カフェ)参加者数 12月末実績 87人 3月末実績(推計) 115人	①墨字の図書を読むのが困難で、かつ来館するのが困難な利用者に対して、録音図書の郵送貸出サービスを行っています。 ②市内の福祉施設にアンケートを実施し、希望のジャンルなどを聞き取り、それを元に図書館職員が貸出パックを作成して施設まで配達するサービスを行っています(令和元年度は7施設が利用)。 ③まちかどカフェは、高齢福祉課と共催で行っている「認知症について相談できる場」です。図書館のグループ室を使用して月1回開催しており、当事者やその家族、ボランティアなどが気軽に集える場となっています。図書館職員も参加し、資料の提供や情報交換などを行っています。	・③について、他課との連携によって、様々なサービスの広がりが期待できます。

	事業計画	取組目標	主な取組実績	自己点検(今後の課題・取組等)	図書館協議会委員による外部評価
	郷土歴史資料や行政資料の収集保存を進め、その普及啓発や活用を図ります。				
基本的運営方針5	(12) 郷土歴史資料の普及啓発や活用を図るため、関連講座及び資料の展示を行うとともに保存修復を行います。	①郷土歴史資料の保存修復 ②郷土歴史資料の活用	①郷土歴史資料数、保存修復点数 12月末実績 230群約6万点 保存修復数 0点 3月末実績(推計) 230群約6万点 保存修復数 0点 ②開催講座数 12月末実績 4講座(8コマ) 3月末実績(推計) 5講座(9コマ)	①令和元年度内に日本遺産「中世に出逢えるまち～千年にわたり護られてきた中世文化遺産の宝庫」を構成する文化財である金剛寺・観心寺などに伝来の古文書の図書館内での公開します。令和2年度に江戸期の当市域に関する重要資料である野村家文書の修復等をすすめ、郷土歴史資料の普及啓発や活用を図ります。 ②講座は、古文書講座(初歩の初歩3コマ・入門編3コマ)各1講座、歴史講座2講座を開催しました。また、今年度は実務者(自治体の図書館・文化財・郷土資料担当者)向けの古文書整理に関する講座も開催しました。各講座の参加者の満足度は8割を超えており、今後も継続して郷土歴史資料を活用した講座を行っていきます。	
	図書館を利用することで市民自らの課題が解決できるよう、図書館資料の活用を促進します。				
基本的運営方針6	(13) 図書館資料の利用を促進するため、生活に役立つ図書館講座や児童を対象とした利用者教育講座(資料の探し方等)を開催します。また、利用者の知的好奇心を刺激するような、多様なテーマに沿った展示を行い図書館資料の活用につなげます。	①課題解決に役立つ講座の開催 ②図書館資料を活用した展示	①開催講座数、参加者数 12月末実績 6回(112人) 3月末実績(推計) 9回(224人) ②テーマ別展示数 12月末実績 61回 3月末実績(推計) 71回	①小学生に図書館での資料の探し方を教える「図書館マスター」2講座(小学3～6年生対象)、生活に役立つ図書館講座6講座(教育費、英語多読2講座、投資、創業計画、醤油蔵の今昔)、三市図書館連携講座1講座(滝畑物語)を開催しました。 ②展示については、毎月または随時、一般向け、児童向け、ヤング向けの各テーマ展示や、他課の講座・イベント等と連携した展示など、様々な切り口で積極的に行っています。 今後も図書館資料の利用促進のため、講座や展示を継続して行っていく予定です。	・学校で「調べ学習」とは何かということ子ども達に指導してもらうために、先生方に「調べ学習」について理解していただく必要があると思います。 ・展示は、毎回いろんな角度から、利用促進につながるよう課題を見つけておられ、感心しています。
	図書館司書及びその他の職員の資質・能力の向上を図るため、継続的・計画的な研修を実施します。				
基本的運営方針7	(14) 図書館司書及びその他の職員の資質・能力の向上を図るため、継続的・計画的な研修を実施します。	①研修への参加 ②職員の接遇能力の向上	①研修(館外)数、研修参加者数 12月末実績 20講座 20人 3月末実績(推計) 34講座 34人 ②利用者の職員対応満足度(5段階評価) 12月末実績 4.5 3月末実績(推計) 4.5	①文部科学省や大阪公共図書館協会等が主催する図書館員向け研修に、積極的に職員を参加させています。障がい者サービスや児童サービス、参考業務、著作権実務等、様々な専門分野の研修を受講しました。また今年度は、外部研修だけでなく、大阪府立中央図書館から講師を招へいし、視覚障がい者の接遇について学びました。 ②利用者の職員対応満足度は、図書館アンケートにより5段階評価で平均4.5であり、今後も職員の接遇の向上に努めます。	・事業計画(14)(16)について、職員の資質向上に向けての研修の実施や、危機管理能力向上に向けての訓練や講習等も十分に行われていると思います。 ・図書館員さんのスキルアップは利用者へのサービスに直結するもの。1講座に複数人の参加ができるよう人的手当を考えて欲しい。

	事業計画	取組目標	主な取組実績	自己点検(今後の課題・取組等)	図書館協議会委員による外部評価
コンプライアンスを推進し、安全で安心な図書館の読書環境を維持します。					
基本的 運営方針 8	(15) 市民の理解と協力を得て図書館の良好な読書環境の維持、利用マナーの向上を図ります。	①良好な読書環境の維持	①マナー向上キャンペーン実施回数 12月末実績 1回 (6/16～7/13) 3月末実績 (推計) 2回 (3月実施予定)	①資料の水濡れ防止キャンペーン (貸出時に声掛けやチラシ配付) を実施しました。 今後も図書館資料を守り、利用者マナーの向上を図るための啓発活動を行っていきます。	
	(16) 危機管理マニュアルの整備、職員に対して防火訓練をはじめAED講習や防犯講習等を実施します。	①職員の危機管理能力の向上	①防火訓練等実施回数 12月末実績 5回 3月末実績 (推計) 7回 実施内容 (実施日) ・救命講習 9/2 ・大阪880万人訓練 予行演習 8/5 ・大阪880万人訓練職員訓練 9/5 ・不当要求への対応研修 8/1 ・自衛消防訓練 7/15 2/24 ・コンプライアンス研修 2/10	①救命講習 (AED)、自衛消防訓練等を施設の関係者と合同で行いました。複合施設にあることを踏まえ、関係機関との連携を図り利用者の安全安心に努めます。また、令和元年度予算で防犯カメラを増設します。	・事業計画(14)(16)について、職員の資質向上に向けての研修の実施や、危機管理能力向上に向けての訓練や講習等も十分に行われていると思います。
<p>○図書館協議会委員からの全体を通じた意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的運営方針1から8の事業計画に係る自己点検内容と数値目標に対する実績がすべて90%以上を達成されていることは一定以上の評価に値します。 ・やっていること、やらなければならないことを整理し、ウィークポイントがあれば、それをピックアップして目標としていただきたい。 					

第2期事業評価 数値目標

方針の番号	指標		28年度 (参考)	29年度 (参考)	30年度 (参考)	令和元年度実績及び自己評価 ※年度実績は、12月末現在の数値に3月末までの推計を含めて算出 A(90%以上) B(89~61%) C(60%以下)		
						目標値	実績値	自己評価
1 ・ 5 ・ 6	1年間の受入れ冊数	購入冊数+寄贈冊数(冊)	14,166	14,055	14,261	目標値 14,000	実績値 14,929	自己評価・・・A (目標に対し、107%達成)
	図書館利用者数	(人)	665,973	629,506	584,998	目標値 621,000	実績値 593,920	自己評価・・・A (目標に対し、96%達成)
	市民一人当たりの貸出冊数	貸出冊数÷人口(冊)	10.0	9.8	9.8	目標値 10	実績値 9.9	自己評価・・・A (目標に対し、99%達成)
	登録者率	登録者数÷人口(%)	36.3	39.6	42.9	目標値 40	実績値 45.9	自己評価・・・A (目標に対し、115%達成)
2	広域登録者の占める割合	広域登録者÷登録者(%)	14	15	15.6	目標値 16	実績値 16.1	自己評価・・・A (目標に対し、101%達成)
3 ・ 4	0~18歳の図書館登録者率	0~18歳登録者÷0~18歳人口(%)	39.8	43.4	47.1	目標値 40	実績値 48.7	自己評価・・・A (目標に対し、122%達成)
	学校との連携	図書館から小中学校への団体貸出冊数(冊)	7,304	7,737	6,883	目標値 6,000	実績値 6,997	自己評価・・・A (目標に対し、117%達成)
7 ・ 8	利用者の職員満足度	5段階評価	4.5	4.5	4.4	目標値 4以上	実績値 4.5	自己評価・・・A (目標に対し、113%達成)

図書館関係統計 (参考)

		28年度 (参考)	29年度 (参考)	30年度 (参考)	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
図書館、自動車文庫、公民館の蔵書冊数	3月31日現在(冊)	487,475	493,467	502,137					
登録者数	3月31日現在(人)	39,165	42,299	45,227					
貸出冊数	年度実績(冊)	1,078,752	1,041,706	1,028,992					
登録者1人当たりの貸出冊数	貸出冊数÷登録者(冊)	28	25	22.8					
人口	3月31日現在(人)	107,963	106,713	105,377					
職員数(うち司書)	3月31日現在(人)	28 (21)	27 (21)	27 (21)					
資料費	当該年度決算見込(円)	26,413,891	26,356,725	26,080,913					
開館日数	3月31日現在(日)	332	330	296					